



SINCE 1986

せいきょう

第152号

# くらしの助け合いニュース

〒603-8352  
京都市北区平野宮北町35  
くらしの助け合いの会  
TEL (075) 465-6886  
FAX (075) 465-6882

## 5年ぶり！ 待ちに待った集う総会を開催！

第39回くらしの助け合いの会総会は、会員の願いが叶い、会場に集まったの開会となりました。久しぶりに顔を合わせ、あちこちで弾む会話に笑顔の花も咲きました。

7月12日（金）10時半より、京都市北文化会館 創造活動室に於いて、第39回総会を68名参加のもと開催しました。

まず理事長メッセージ紹介、続いて来賓よりのご挨拶を頂きました。その後、議事に入り、「各エリア」「配食活動」「推進グループ」の活動報告を行いました。5つのエリアからは地域例会やサロンなどの報告、配食活動からも、会員に楽しみに待たれている様子などの報告がありました。

推進グループ『大学生とのつながりを進めるチーム』からは、大学生のサークルとイベントをしたり、「会の活動内容などを紹介」したことがきっかけで「会員登録や活動開始」につながったという



会場の様子

報告がありました。イラストや写真を取り込んだ映像で、報告がより分かりやすく眼と耳から入ってきて、生き生きとしたものとなりました。

議案は書面議決により、第1号～3号全て賛成多数で承認されました。2024年度の幹事、会計、会計監査の紹介の後、事前にいただいた質問への回答がありました。

今回活動会員の協力で、30周年記念歌「笑顔かさねて」の手話動画を作りました。

最後に、その動画を流し、会場は合唱と手話で盛り上がりました。



### メッセージ

京都生協理事長 畑 忠男 様

京都生協は創立60周年を迎えます。地域の中で人と人とのつながりを大事にしながら発展してきました。これまで支えて頂いた皆さまには感謝を申し上げます。

設立当初に語られた「頼もしき隣人たらん」という言葉は、今も京都生協の理念として、私たちの活動の拠り所となっています。人口減少、少子高齢化、物価高騰、戦争や災害など、不透明で不安も大きい状況にあります。そういう時代だからこそ、お互い助け合うことの価値が高まっています。「くらしの助け合いの会」の活動が、更に、暮らしを良くしていくことにつながるよう期待しています。

京都府社会福祉協議会 北尾 尚子 様

日頃の活動に感謝を申し上げます。私事ですが、能登半島地震の生活支援に社協職員として2回派遣されました。被災者では、誰も来てくれなくて会話がなかったと、堰を切って話す何人もの高齢者に会いました。会話や人と人とのつながりが日常を豊かにすることを改めて感じました。府社協も、「つながりを生かして誰もが尊厳を持って生きる社会を作る」を理念とし、地域の身近な支え合いや見守り活動などを通じて、地域課題の解決の仕組みを進めているところです。今後も色々な場面で皆様とご一緒できたり、学び会える機会を願っています。

京都市社会福祉協議会 永田 潤平 様

市社協は、「高齢者の見守り活動を企業連携事業」で生協と連携しています。生協の個別宅配時に異変があった場合、社協へお知らせいただき、地域包括支援センターや区役所と連絡を取り、お宅へ伺うという取り組みです。

もう一つの連携に、各区に小さい単位で「支え合い活動創出コーディネーター」を配置しています。朝刊に「右京区の小さな商店街が火事で焼け、近所の方がお困りだと知ったコーディネーターが、生協に移動販売の調整を依頼したところ可能とのことで、地元の人が非常に安心しておられる」との記事が載っていました。

### 皆様のご支援に感謝申し上げます

#### 春の宅配募金金額 262,716 円でした。

くらしの助け合いの会は、生協の組合員が自主的に会員となって運営しています。普段の暮らしを助け合い、支え合うことを目的とした誰もが参加できる「お互いさま」の援助活動です。募金は会の運営を支えてくれる資金として大切に活用しています。全組合員対象に活動内容をお知らせして、一人で悩まずに、困りごとの発信や相談が出来るように呼びかけをしています。

#### 秋の募金にご協力をお願いします。

年会費の納入が未だの方は納入を宜しく！！

★募金方法…共同購入や個配の9月4回～10月3回注文書で募金ができます

① 100円を一口として募金する場合…6ケタ番号記入欄に **294713** と口数を記入してください。

② ポイントを活用する場合…6ケタ番号記入欄に **279960** と口数を記入（1口100円）してください。



**夏休みのお知らせ 8/10(土)～8/16(金) 会はお休みです。体調管理に努めてくださいね。**